

皆さん、改めまして「明けましておめでとうございます。」

こうして新しい年を迎え、本日皆さんが元気よく登校してくる姿を見ることができて大変うれしく思います。私も新たな年を迎え、今年はどんな新しいことに挑戦しようかと考えているところです。

そこで、私なりに今年の抱負を考えてみました。立場上、学校のことを切り離すことはできないので、雪谷高校がどんな学校になればよいのか、またそうなるためにはどうすればよいのかなどを考えてみました。皆さんも考えてみてください。良い学校とはどのような学校なのでしょう。明るくて雰囲気がいい、進学実績がいい、学校行事や部活動が活発などなど、人によって様々な理由をあげると思いますが、これらはどれも断片的な結果で本質的な理由ではないのではないのでしょうか。私が考える良い学校とは、ここに関わる全ての人、自分の可能性や視野が広がり、行動や考え方が変わることで成長する学校だと思います。これは別にクラスやチームなどの学校の中だけでなく、君たちが社会人となった時や地域社会などの様々な集団にも同じことが言えます。学校生活の中で、各々自分がやるべきことや足りないことに気づき、それに対して正面から向き合い、仲間や先生方とともに一体感を持って活動している学校となってくれることを願っています。しかしながらそのような環境は、決して他人任せや人から与えられるものではありません。

皆さんは、昨年の自分と比べて自身の成長を感じていますか。あまり感じていないと考えている人が多いのであれば、私は反省しなければならないのですが、日頃の活動を見ていて、多くの皆さんは成長した自分を感じているはずです。その変化した自分を、どんな小さなことでもいいですから、友達や担任の先生と共有してください。本校の先生方は、誰もが皆さんの成長を願っているわけですから。私は、皆さんが成長しようとして懸命に頑張っている様を見届けることが、私の使命だと思っています。

話は変わりますが、3年生の皆さんは、いよいよ入試本番ですね。ここまで来たら皆さんにお伝えすることはありません。体調に気を付けて、自分を信じて、悔いが残らないよう最後までやり切ってください。また、既に進路が決まっている生徒諸君も、残り僅かな高校生活を新たな進路先への準備期間として、有終の美を飾って欲しいと思います。

それでは皆さん、この一年が皆さんにとって素晴らしい一年となることを祈って始業式の挨拶と致します。